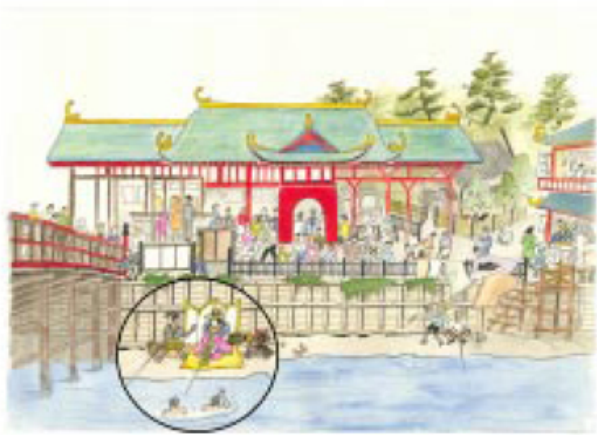


懐古

八十年

絵と文

金子繁治



⑭【片瀬江ノ島駅】

乙姫さま

太郎さま、私こちらが
たいへん気に入りましたので、片瀬に住むこと
にしました。

浦島太郎

それはなりません。
すでに弁天さまがたい
へん焼きもちを焼いて
いるらしい。

私に代わって亀に
乗って明日にでも竜宮
城へお帰りなさいませ。
私は小田急で久しぶりに
郷里に帰ります。